



特集1

つながる絆 ～5年の時を経て～



5年ぶりの交流再開

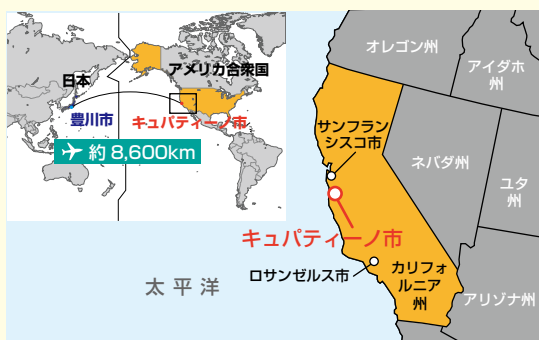
昭和53年、姉妹都市提携を結んだ豊川市とキュパティーノ市。姉妹都市提携後、国際感覚豊かな人材を育てることを目的に、毎年、中学生使節団の相互派遣を実施し、これまでに1071人がお互いの国を訪問して友情を深めてきました。しかし、感染症の影響で、令和2年度から相互派遣は中止となっていました。

令和6年度、5年ぶりに、両市の中学生使節団の相互派遣が再開

されることとなり、16人の市内中学生が活動に参加しました。「繋（つなぐ）」をスローガンに、これまで両市が築き上げてきた絆を今に繋ぎ、これから先の未来へ引き継いでいけるように1年間活動。現地の学校で授業を受けたりと、ホストファミリーと交流したりと、キュパティーノ市の人たちとより深い絆を築いてきました。

今回の特集では、中学生使節団の活動内容について紹介します。詳しいことは、市民協働国際課（89局2158番）へお問い合わせください。

キュパティーノ市ってこんなところ



アメリカ合衆国カリフォルニア州にあり、サンフランシスコ国際空港から車で約1時間南下したところに位置しています。人口は約6万人（豊川市の約3分の1）、面積は約29平方キロメートル（豊川市の約5分の1）の都市です。年間を通して温暖な気候の地中海性気候で、過ごしやすいうことが特徴です。

IT産業が盛んなまち

シリコンバレーの中心部に位置し、IT産業が盛ん。市内にはアップル社やヒューレット・パッカード社、シマンテック社など数多くのIT企業があります。そのため、インドや中国、台湾、日本などからの移住者が多いのも特徴の一つです。

中学生使節団相互派遣の活動を振り返ります!

8月 研修



AETの先生と英語の特訓。キュパティーノ市で披露するダンスの練習なども行いました。

6月 結団式



使節団員としての最初の活動。市長から辞令を受け取りました。

6月 キュパティーノ市中学生使節団来訪



ゲームで仲を深めました!



茶道や座禅体験などの日本文化にも触れました。



学校で授業を受けたり、日本の文化を体験したりしたキュパティーノ市の中学生たち。さまざまな交流を通して仲を深めました。



キュパティーノ市中学生使節団
ジョスリン・フォーさん

異国の文化の体験や、日本で友人を作りたいという思いがきっかけで、使節団に入りました。日本で一番驚いたのは、学校で、先生と生徒が友達のように親しかったこと。ホストファミリーとは、流しそうめんをしたり、浴衣を着てお祭りに行ったりと、たくさんの日本文化を体験することができました。日本での経験はどれもとてもすてきで、多くのことを学び、成長することができました。次に豊川市に来るときは、豊川市の名物をたくさん食べたいです。

10月 豊川市中学生使節団派遣



現地の文化を体験し、ホストファミリーとも交流。練習したダンスも披露し、大盛況でした。



現地の学校の先生と英語で会話をしました。



12月 報告会



派遣を通じて学んだことを報告しました。

10月 出発式



精一杯交流してきます！

キュパティーノ市派遣を前に決意を英語で話しました。



豊川市中学生使節団
御津中学校3年 池田 尚矢さん

兄と姉が活動に参加していた影響で興味を持ち、自分も海外に友人を作りたいという思いから参加しました。現地の学校では、最初はあまり話しかけてもらえませんでした。自分から積極的に英語で話しかけると、向こうからどんどん話しかけてくれるようになりました。この経験から、自ら話そうとする姿勢や挑戦することの重要性を学ぶことができました。海外での活動はめったにできない経験です。自分の世界も広がるので、参加を迷っている方は挑戦してみてください。



特集2

地域の絆を育む子ども会

地域の子どもが集まり、さまざまな活動を通して交流を深める子ども会。今回の特集では、子ども会の活動内容などを紹介します。

詳しいことは、生涯学習課（88-8035）へお問い合わせください。



子どもの経験を育む場

レクリエーション活動などを通して地域の子どもたちの交流を深める子ども会。異なる年齢の子どもが集まり、同じ地域に住む子どもたちが仲良くなるきっかけとなっています。子ども同士のコミュニケーション力や協調性を育むことにつながる他、遊びなどを通して、子どもたちが自分の力で活動し、成長する場にもなっています。

子ども会では、映画鑑賞会やクリスマス会をはじめ、地域の方の協力のもと行う農業体験など、地域ごとに開催されるさまざまなイベントがあります。また、老人会などと一緒に行事を行ったり、お祭りに参加したりすることで地域の大人と子どもが顔見知りになり、地域の活性化にもつながります。

子どもたちにとって貴重な経験の場になっています

大和子ども会では、ボウリング大会などのイベントの他、地域の農家さんのご協力を得て、トウモロコシ狩りも行っています。普段できない体験や、地域の方々と交流できることが子ども会の魅力だと思っています。3人の子どもたちも「学校以外の場所で違う学年の友達と交流できることがうれしい」と、活動を楽しみにしています。子どもに色々な体験をしてほしいと思っている方には、おすすめの場です。



大和子ども会
会長 山口 未華さん(上)・秀明さん(右)
優希さん(左)・真季さん(下)





子ども会に参加してみよう!

「子ども会がどんな活動をしているのか知りたい」という方のため、市内の子ども会の様子を市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

また、子ども会に参加したい方やジュニアリーダーに興味のある方、近くの子ども会が分からない場合は、市子ども会連絡協議会(生涯学習課内)(88-8035)へお問い合わせください。



詳しくはこちら



市子ども会連絡協議会では、キャンプなどのレクリエーションで使用する備品の貸し出しや、子ども会同士の情報交換会を開催するなど、子ども会が活動しやすくなるように支援を行っています。また、中学生・高校生を対象に、地域の子どものためイベントを企画・運営する「ジュニアリーダー」を募集し、さまざまなイベントを開催。子どもたちが交流する場を広げています。

子ども同士の交流だけでなく、ここでしかできない体験から多くのことを学び、成長する場となっている子ども会。興味のある方は、お近くの子ども会に参加してみたいかがでしょうか。

成長の場を支えるために



ジュニアリーダー
高校1年 安藤 優花さん

子どもたちに楽しい思い出を作してほしい!

子どもたちと交流することが好きで、中学2年生からジュニアリーダーの活動をしています。子どもたちのために、デイキャンプやクリスマス会などのイベントを自分たちで考え、開催しています。子どもたちにとって良い思い出となるように楽しませる自信があるので、ぜひ遊びに来て欲しいです。また、イベントの企画・運営などを通して、自分自身も成長することができ、とても良い経験になっています。興味のある方は、私たちと一緒に子どもたちを楽しませてみませんか?

